

登録コード	ASE03627	開講年度	2026				
授業科目	特別研究				担当教員	中村 浩蔵	
英文授業名	Special Research				副担当		
単位数	10	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	
講義室			授業形態	演習	備考		
信大コンピテンシー	該当						
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】	
	2026ASカリ, 2025ASカリ, 2024ASカリ, 2023ASカリ						
	【専攻】生命科学, 食品科学, 食料生産および環境の保全と修復などの分野における幅広い体系的な基礎学力と実践的技術力とともに高い研究開発能力を修得している。				⇔	食品成分の性質と作用メカニズムに関する専門知識への理解を深め, 食品機能成分の設計, 合成, 機能解析, 機能評価, 実用化研究に必要な知識と技術を修得することで高い研究開発能力を修得する。	
	【専攻】農学分野で必要とされる情報収集・分析能力, 批判的思考力を有し, 農学分野での研究成果を発信できるグローバルな情報発信能力を有する。				⇔	食品成分の性質と作用メカニズムに関する的確な情報を収集・分析し, 内容を理解し魅力的にまとめて国内外に発信できる能力を修得する。	
授業の概要	本授業では, 食品機能メカニズム解明と研究成果の社会実装を目的とした研究を遂行することで, 食品成分の性質と作用メカニズムに関する専門知識への理解を深め, 食品機能成分の設計, 合成, 機能解析, 機能評価, 実用化研究に必要な知識と技術を修得します。						
Contents:	In our laboratory, you will conduct researches related to food functionality and the social implementation to prepare own master's thesis. You can expect an important and novel result in your research. I wish you good luck.						
授業計画	授業では指導教員とディスカッションを行い, 具体的な研究テーマを選定します。そして, 指導教員の下で実験を行い, 必要な情報を収集しながら研究を進めます。研究の進捗は週に一度開催される研究室ゼミでチェックし, 参加者とのディスカッションでよりよい研究方法を模索します。また, 定期的に研究テーマに関連の深い論文を紹介, 解説します。研究は修士課程1年次の修士論文中間発表会と修士課程2年次の修士論文発表会を目安として進め, 最終的には研究成果を学会で発表してもらいたいと考えています。 1. 特別研究概説, 研究テーマ設定 2~10. 研究進捗確認と研究指導 11. 関連文献紹介, 解説 12. 成果発表指導 13. 論文作成指導 14. 修士論文中間発表または修士論文発表 15. 修士論文作成						
成績評価の方法	・日々の研究への取り組み姿勢を重視します。 ・加えて, ゼミでの研究経過報告, 修士論文中間発表会, 修士論文発表会, 修士論文の内容を総合的に判断して成績を評価します。						
成績評価の基準	・研究テーマについて理解し, 研究を修士学位論文としてまとめ, また, 研究内容を適切にまとめて発表できるとき「水準にある」。 ・研究テーマについてよく理解し, 計画的に研究を進めて修士学位論文としてまとめ, 研究内容と成果を理解しやすくまとめて発表でき質疑応答ができるとき「やや上にある」。 ・研究テーマについて十分に理解し, 計画的に研究を積極的に進めて学術論文レベルにまとめ, 研究内容と成果を理解しやすくまとめて魅力的に発表でき, 学問的な質疑応答ができるとき「かなり上にある」。 ・研究テーマについて背景を含めて十分に理解し, 自主的かつ計画的に研究を積極的に進めて新規性のある研究成果を得て学術論文レベルにまとめ, 研究内容と成果を理解しやすくまとめて魅力的に発表でき, 学問的に深い質疑応答ができるとき「卓越している」。						
事前事後学習の内容	・ウィークデイは自主的な個人での研究活動(情報収集, 実験)になります。 ・研究を進めるためには最新の原著論文, 専門書などを原文(主に英語)で読む必要があります。						
履修上の注意	・ゼミには必ず参加してください。ゼミに参加できない理由がある場合には事前に指導教員と相談し, 欠席の許可を得てください。						
質問,相談への対応	研究室ゼミへの参加, 専攻研究発表と専攻研究論文, 研究への取り組み状況によって評価します。研究室ゼミへは必ず参加することとし, やむを得ない理由があるときには事前に許可を取ることが必要です。						
学生へのメッセージ	研究目標達成できれば研究室での生活は自由です。ただし, ゼミには必ず参加してください。ゼミに参加できない理由がある場合には事前に指導教員と相談し, 欠席の許可を得てください。やる気のある学生への協力は惜しみません。						
【教科書】	配布資料等						
【参考書】	特に指定しない						